

©NTT空間情報株式会社

新幹線駅周辺整備計画（２）

二次交通対策

- ・「観光需要の季節変動」「生活交通を支える需要の減少」を考慮する必要。
- ・当面は広域的な協議の枠組みづくりを推進。

観光交流拠点の整備

- ・多様な施設をコンパクトに収納した1,000㎡程度の施設を想定。
- ・平成29年度以降、既存商業機能との連携・効果の波及を念頭においた用地の検討を推進。

中心市街地の活性化方策

- ・平成29～30年度を目安に「①本町通の拡幅整備による街なみ環境整備」と「②駅周辺エリアへの商業機能の集約・再編」の2つの方向性から方針を決定。

長万部温泉街の活性化方策

- ・外国人や個人観光客の受入拡大、通年で安定した需要創造を目指し、具体的戦略・プロジェクトを検討。

新幹線開業に向けたロードマップ

■観光振興分野

テーマ	概要		
市場環境に対応した宿泊施設の多様化	○新幹線によって増加する顧客層を取り込むことができる施設づくりの支援 ○未利用資源の活用による町内外からの新規参入者の公募		
	短期 (H29～H32) ・制度の枠組み決定	中期 (H33～H37) ・制度運用開始 ・公募開始	長期 (H38～H42) ・施設整備、営業開始
食の活用による需要の通年化	○長万部町内の「あたり前」の素材・調理法を発掘・磨き上げ ○広域エリアを含めた食材の発掘・提供 ○閑散期に的を絞ったキャンペーン展開		
	短期 (H29～H32) ・長万部町の伝統の味の調査 ・広域的な食資源の発掘	中期 (H33～H37) ・閑散期の食資源を活用したキャンペーン試行	長期 (H38～) ・閑散期のキャンペーンの本格展開
新幹線開業に向けたブランド力の強化	○地域資源を活用した観光プログラム開発 ○外国人観光客への対応力向上 ○温泉街全体のブランドイメージを高めシンボリックな空間づくり		
	短期 (H29～H32) ・観光プログラム開発 ・外国人対応力向上セミナー等開催	中期 (H33～H37) ・観光プログラムの試行 ・シンボリックな空間づくりの方針決定	長期 (H38～) ・観光プログラムの事業化・運用・改善 ・シンボル空間の整備
地域連携による広域DMOの実現	○広域的な観光振興を推進する組織づくり ○駅周辺エリアにおける町内及び広域的な観光情報提供 ○観光市場の変化に対応できる人材の育成		
	短期 (H29～H32) ・広域的に観光を推進するDMO組織の枠組み決定	中期 (H33～H37) ・人材の誘致・育成 ・広域DMO組織の構築	長期 (H38～H42) ・DMO組織が主体となった情報提供機能の構築
移住・定住の促進	○新幹線によるアクセス性の向上など滞在拠点としての長万部のポテンシャルを最大限に活用した移住・定住の促進		
	短期 (H29～H32) ・立地条件のPRに向けた戦略検討	中期 (H33～H37) ・活用可能な不動産（空き家や土地等）の整理	長期 (H38～H42) ・効果的・効率的なPRの展開

■まちなみ形成分野

テーマ	概要		
中心市街地における商業機能の確保	○長万部の顔となる商業機能の確保に向けた民間を主体とした商業空間づくり ○長万部駅周辺における長万部の顔となる商業機能を支える基盤整備		
	短期 (H29～H32) ・駅周辺整備方針決定 ・都市マスタープラン等策定	中期 (H33～H41) ・商業空間及び商業機能を支える基盤整備	長期 (H42～) ・新幹線開業に向けて営業開始
交流拠点「まちの駅」の整備	○駅周辺に特産品の販売や飲食機能を有し、観光情報提供機能と一体となった拠点施設の整備		
	短期 (H29～H32) ・基盤整備の方向性決定 ・都市マスタープラン等策定	中期 (H33～H37) ・運営組織のあり方や具体的機能の決定	長期 (H38～H42) ・新幹線開業に向けた施設整備
地域資源を活用した特産品の開発	○町内で生産される農水産品や町内で伝統的に親しまれてきた菓子など地域資源を活用した特産品の開発		
	短期 (H29～H32) ・特産品開発の試行	中期 (H33～H41) ・特産品販売の事業化・改善	長期 (H42～) ・持続的な特産品の改善
長万部のシンボルとなる駅舎デザインの検討	○地域の象徴となる駅舎デザインの検討		
	短期 (H29～H32) ・町としての要望の方向性をとりまとめ	中期 (H33～H39) ・事業主体に対する要望及びデザインへの反映	長期 (H40～H42) ・駅舎の整備

■交通アクセス分野

テーマ	概要		
利便性の高い駅機能の確保	○長万部駅の東西を結ぶ自由通路の整備 ○長万部駅を起点とした乗継客や在来線利用客の利便性確保		
	短期 (H29～H32) ・要望方向性・都市計画上の位置付け決定	中期 (H33～H39) ・事業主体に対する要望	長期 (H40～H42) ・駅舎の整備
長万部駅を起点とした交通アクセス機能の向上	○二次交通への円滑な移動等を目的とした駅前広場の整備 ○交通需要を円滑に処理するためのアクセス道路の整備		
	短期 (H29～H32) ・都市計画上の位置付け決定	中期 (H33～H39) ・用地買収・補償等	長期 (H40～H42) ・駅前広場及びアクセス道路の整備
駅周辺における駐車機能の確保	○高架下の空間等を活用した利便性の高い駐車場の整備		
	短期 (H29～H32) ・町としての要望の方針決定	中期 (H33～H40) ・用地の確保、構造及び事業手法の決定	長期 (H41～H42) ・駐車場の整備
多様な利用者に配慮した移動空間の確保	○車椅子やベビーカー利用者が円滑に移動できる移動空間の確保		
	短期 (H29～H32) ・バリアフリー基本構想策定 ・防災要望検討	中期 (H33～H37) ・バリアフリー基本構想展開 ・防災機能要望	長期 (H38～) ・バリアフリー基本構想展開 ・駅舎の整備
ニーズに合わせた二次交通サービスの充実	○広域エリアの観光拠点等を結ぶアクセス網等整備 ○広域エリアを周遊するためのレンタカー機能の誘致 ○広域エリアで利用可能エリアフリーパスの検討		
	短期 (H29～H32) ・広域的な検討組織の構築	中期 (H33～H41) ・実証事業展開 ・レンタカー事業者誘致	長期 (H42～) ・実証事業展開 ・地域公共交通網形成計画
二次交通網構築に向けた広域的な協議の場づくり	○檜山北部、南後志、西胆振など広域エリアで二次交通網の構築等に向けた協議を行う場の形成		
	短期 (H29～H32) ・広域的な検討組織づくりの構築	中期 (H33～H41) ・具体的な協議・需要調査や実証事業の展開	長期 (H42～) ・実証事業やプロモーションの展開
高架下空間の有効活用	○高高架構造により生じる高架下空間の有効活用促進		
	短期 (H29～H32) ・町としての要望の方向性を決定	中期 (H33～H39) ・事業主体に対する要望	長期 (H40～) ・具体的な利用方策決定及び整備